

2016年度提出済み声明⑤「北朝鮮」の核実験に対する声明（世話人提案）

2016年10月7日

内閣総理大臣・各政党・メディア・朝鮮総連宛て

国際婦人年連絡会

世話人 實生 律子

紙谷 雅子

大倉多美子

「北朝鮮」の核実験に対する声明

北朝鮮は9月9日、5回目となる核実験を実施しました。朝鮮中央テレビは「核弾頭の威力を判定する核爆発実験を断行し、実験は成功した」と報じています。

今回の実験が成功したことは、核弾頭の小型化が進み、弾道ミサイルの技術向上と併せ、北朝鮮が目指す核ミサイルの実戦配備に道を開く可能性があることを示しています。

今年に入って2回目の核実験、22発の弾道ミサイル発射という北朝鮮の一連の動きは、国連安保理決議に著しく違反するものであり、国際社会の平和と安全を根底から揺るがす暴挙であります。国連を中心として、包括的な制裁手段を含めた新たな決議に向けた協議の検討が行われています。

一方北朝鮮は「核・ミサイル開発は自衛的措置であり、今後も核開発を継続する」と強調しています。

大切なことは、北朝鮮が六カ国協議の対話のテーブルに着くよう国連をはじめとして、国際社会が一致して北朝鮮に働きかけることです。

すでに人類は一瞬にして大量破壊を可能にする兵器を作ってしまいました。核を保有した国は間違いなく自らの国をも破滅に至らしめることを今こそ自覚すべきです。世界が核による破滅へとこれ以上向かわないよう、すべての国が核廃絶を目指し、世界の安全保障と平和に向けて具体的な一歩を踏み出す努力を続けることを求めます。